

創立 130 周年『へいちゃん・そうくん』のイラストを 全校生で考えました

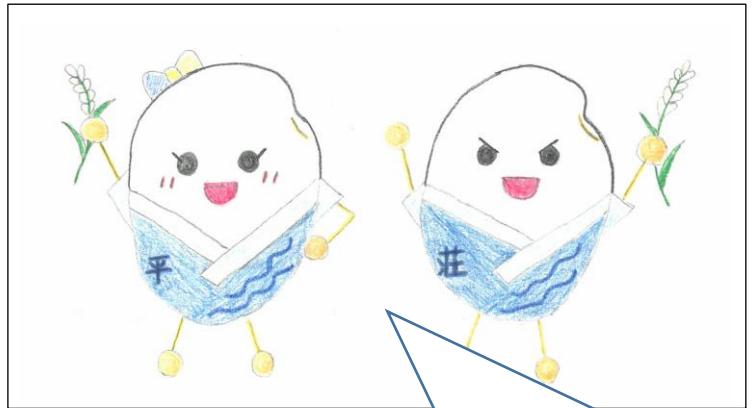
短い期間でしたが、児童会が募集をした創立 130 周年記念の『へいちゃん・そうくん』のイラストを、多くの児童が考え応募してくれました。

子どもたちのイラストやメッセージには、平荘小学校を大切にしている（愛している）気持ちがひしひしと伝わってきました。その中の一部を紹介します。

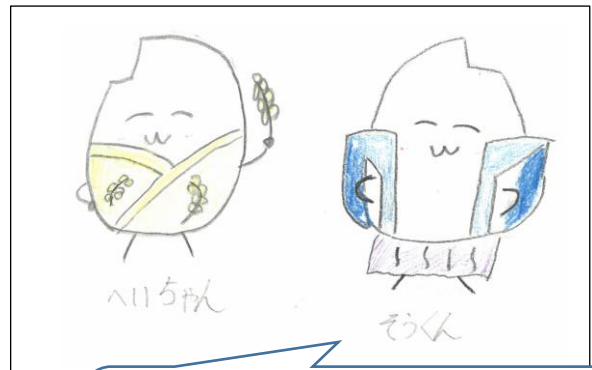


へいちゃんは、髪の毛を黄色にして『いなほ』を表現しました。イノシシのお面は、この辺にいっぱいいるから付けて、三つ編みで『いなほ』を表しています。肩衣と袴を着せて狂言の服装をしています。扇子に『130 さい』と書いて、平荘小学校の 130 周年を表しました。

そうくんは、髪の毛を水色にして平荘湖を表しました。服は、柿山伏の服装にして柿を持たせました。手をピースにして、うれしそうにしました。



二人の着ている服は、平荘湖や権現湖の青色をイメージした狂言の衣装です。平荘町の田んぼで美しく輝く稲穂を持たせました。へいちゃんが付けているリボンのカラーは、イメージカラーにしました。二人はお米の形にしました。



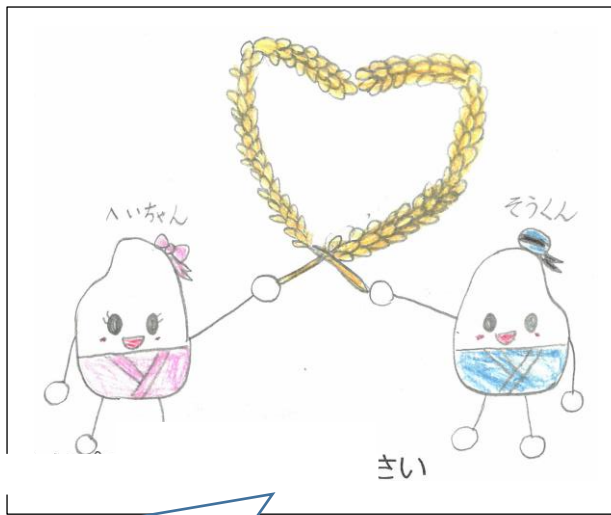
イメージはお米で、へいちゃんの服の模様には稲を描きました。そうくんの服は、狂言の服にしました。



へいちゃんは田んぼの緑・加古川の青をモチーフにしました。手には稲を持っています。

そうくんは、湖の青と実りの秋の黄色・フルーツパークのくだものを手に持っています。

平之荘神社や上荘神社の祭りをイメージしました。



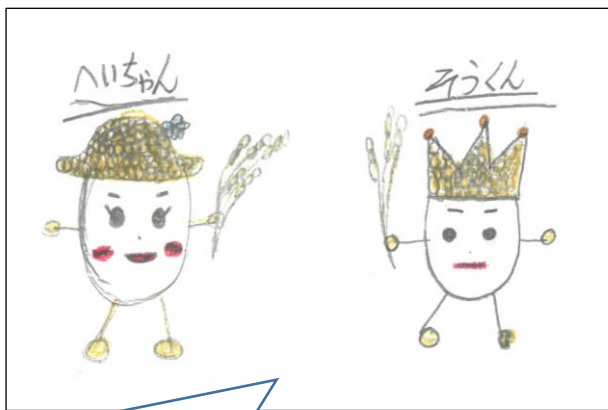
130周年も愛されてきたという意味で、いなほでハートをかきました。田んぼの学習もしているからお米をモチーフにしました。



へいちゃんの髪の毛を金髪にして、いなほをイメージしました。

そうくんの髪の毛を青色にして、平荘湖・権現湖をイメージしました。

二人の持つ扇子の模様をいなほにしました。全体的に青・緑・黄色を多く使いました。そして、へいちゃん・そうくんの服（帽子も）狂言の服にしました。

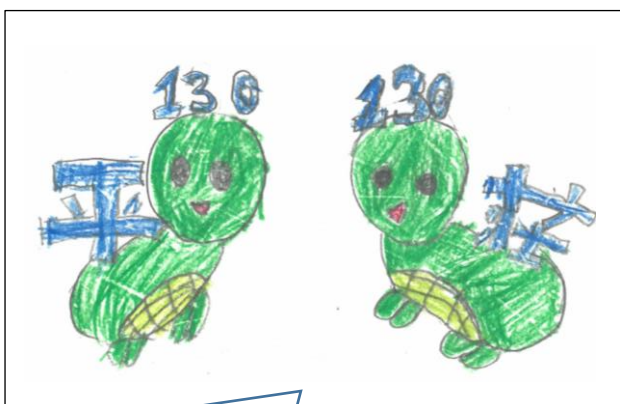


へいちゃんは、お米の帽子で、体も米、手に稲を持っています。

そうくんは、お米が付いている王冠で、体も米、手に稲を持っています。



頭の形は葉で、イネの冠をしています。体は、平荘湖をイメージしました。左がへいちゃん、右がそうくんです。



カメにした理由は、『鶴は千年、亀は万年』という長い年月ということで、カメにしました。甲羅を『平』『荘』にしました。



平荘小学校の特色である「狂言」「いなほ」「湖」を取り入れました。

★一生懸命に考えたキャラクターですね。うれしいです。